

809

寶島銀行條例



貿易銀行條例

第一章 創立ノ事

第 一 条 日本政府ハ此ノ條例ニヨリテ一箇ノ銀行ヲ

創立スルヲ許シ之ヲ稱シテ貿易銀行ト云ベシ

而シテ大藏卿ハ之ヲ創立シ之ヲ管理スルニ付其

持権ヲ有スベシ

第 二 条 貿易銀行ハ其本店ヲ武藏國横濱港ニ設

置シ日本各地ニ於テ其支店ヲ置クヲ得ヘシ

第 三 条 大藏卿ハ日本人民ノ中ヨリ相當ト思考スルモノ

五人以上ヲ撰定シテ發起人トナシ其創立諸般ノ事務

ヲ經理セシムベシ

第 四 条 右發起人ハ創立諸般ノ手續ヲ識定シ速ニ

株主ヲ募リ創立証書及ニ銀行定款ヲ作り株主一同

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄

記名調印シテ之ヲ大藏卿ニ差出スベシ

但爾後創シ証書銀行定款ヲ改正加除セントスルハ其時ニ大藏卿ノ認許ヲ受クベシ

弟 条 大藏卿ハ之ヲ核按シ相當ト思考スルニ於テハ之ニ奥書証印ヲ加ヘ開業免狀ト共ニ之ヲ下付シ其開業ヲ命スベシ

弟 条 右開業免狀ヲ得テ初テ一團ノ會社トナリ法律上ニ於テ一人ト看做スベシ

弟 条 此銀行ハ其營業保証ノ為メ其資本金高ノ十分ノ二ニ當ル日本政府ノ公債証書ヲ大藏省ヘ預テ置クベシ

弟 条 此銀行ハ開業免狀ヲ受ケシ日ヨリ滿二十ヶ年ノ間其營業ヲ取續クヲ得ベシ右滿期ニ至リ尚ホ

保續セントスルハ更ニ允許ヲ受クベシ然レハ大藏卿ニ於テ緊要ナリト思考スルハ何時ニテモ之ヲ閉店セシムルヲ得ベシ

第二章 資本金ノ事

第 三 条 此銀行ノ資本金總額ハ少クトモ三百萬円ニ

下ラスレテ日本貿易銀ヲ以テ之ニ充ツベシ

但大藏卿ニ於テ要用ト思考スルキハ便宜之ヲ増減
スルコトアルベシ

第 四 条 右資本金ハ之ヲ株式ニ分割シ壹株五百円

ト定ムベシ

第 五 条 大藏省ハ此銀行資本金總額ノ十分 五ヨリ

少カラザル出金ヲナシ常ニ其株主タルベシ

第 六 条 此銀行ノ資本金ハ開業免狀下付ノ前必ズ其

半額ヲ入金シ残り半額ハ開業ノ三ヶ月ヨリ三ヶ月以テ
五ヶ月間ニ入金シ其時大藏卿ハ出金ヘシ

第二章 銀行發行并準備金ノ事

第 條 此銀行ハ其資本總額ノ十分ノ八ニ超ヘサル通用銀券ヲ發行スルコトヲ得ベシ

第 條 右銀券ハ大藏省ニ於テ之ヲ製造シ銀行ハ相當ノ代價ヲ納メテ其下付ヲ請フベシ

第 條 右銀券ハ之ヲ發行セルムル以前ニ日本政府ヨリ其見本ヲ添ヘ之ヲ全國ニ布告スベシ

第 條 右銀券ハ五円拾円二十円五十円百円五百円千円ノ七種タルヘシ而シテ十円以下ノ銀券ハ總額十分ノ三ヨリ上ルベカラス

第 條 右銀券ハ日本全國何レノ處ニ於テモ租税及關稅其他一切ハ私ノ取引ニ於テ都ニ政府發行ノ貨幣同様通用ヘベシ

弟 条 右銀券ノ受授ヲ拒ミ及ヒ右銀券又ハ此銀行ノ
諸証書諸手形ノ類ヲ贋造シ或ハ毀傷スル等ノ所為ア
ルニ於テハ都テ國立銀行條例第五十条弟八十九、弟
九十条弟九十一条ニ準シテ處分スベシ

弟 条 此銀行ハ右発行銀券引換ノ準備トシテ銀券
流通高ノ三分ノ一ヨリ少カニナル貿易銀ヲ備ヘ五キ銀
行營業ノ時間ハ何時ニテモ差支ナク之ヲ引換ヘシ

弟 条 右發行銀券ハ固ヨリ其本店ニ於テ引換ベキ
モノナリト雖モ銀行ノ都合ニヨリテ其支店ニ於テモ
之ヲ引換フルコトアルベシ

弟 条 右銀券流通中敗裂汚染等ニテ通用シ難キモノ
アルトキ若シ其名印番記号ノ消滅シテ認メ難キニアラ
ザルマデハ其所持人ハ之ヲ銀行ニ持参シテ引換フベシ

而シテ銀行ハ之ヲ大藏卿ニ差出し其代リ銀券ヲ
受取ルベシ

但本文廢券ハ大藏卿ノ委員及ヒ銀行役員ノ立會
ヲ以テ之ヲ燒捨ベシ

第二章 銀行ニテ其銀券引換ヲ拒ミシクノ處分

弟 條 此銀行ノ營業時間中其發行銀券ヲ本店
ヘ持参シ引換ヲ望ムモノアルトキ銀行ニ於テ之ヲ拒ミ
又ハ急リテ其引換ヲササルニ於テハ右銀券ノ持主
ハ其趣ヲ書面ニ認メ之ヲ其管轄地方官廳ヘ差出
シ銀行ヘ掛合方ヲ乞フベシ尤モ銀行ニ於テ之ヲ拒ミ
タル理由アルトキハ其趣旨及ヒ其金額月日等ヲ書面
ニ認メ頭取又ハ取締役之ニ記名調印シテ之ヲ銀行
持主ニ渡スヘシ然ルキハ其持主ハ右書面ヲ地方官廳ニ
差出スノミニシテ掛合方ハ乞ハサルベシ

但預金ノ返却ヲ拒ミシトキモ亦預主タルモノハ本條ニ
準シ申請スルヲ得ベシ

弟 條 地方官廳ニ於テ銀券持主ヨリ銀行ヘ掛合方

書面ヲ領受スルトキハ直チニ其銀行へ掛合其掛合状
及ヒ持主ヨリ差出シタル書面ノ寫ヲ大藏卿へ送達シ
テ其由ヲ報知スベシ尤モ銀券持主ヨリ唯銀行ノ趣旨
書ノミヲ受取リタルトキハ其書面ヲ大藏卿ニ送致スル
ノミニシテ銀行へ掛合ニ及バザルベシ

第 条 右地方官ノ申牒ヲ得ルニ於テハ大藏卿ハ速ニ
特例ノ監督役ヲ派遣シ其事實ヲ推窮シ不正ノ實際
アルニ於テハ直チニ其銀行ノ營業ノ差止メ金銀其他
拂方ヲ禁ズベシ

第 条 然ル後大藏卿ハ相當ナル委員ヲ撰定シテ
此銀行ノ資産負債ノ実況ヲ調査セシメ若シ更ニ營
業セシムルモ差支ナシト認ムルハ更ニ營業セシム差支
ナク銀券ノ引換及ヒ其他ノ拂方ヲサシムベシ

第 条 若シ又更ニ營業セシムベカラザル実況アルニ
於テハ速ニ其鎖店ヲ命ジ此銀行ヨリ大藏省へ預ケ
置タル公債証券其他此銀行ノ各種ノ資産ヲ取押へ
諸貸付金立替金等ヲ取立タル上ニテ大藏卿ハ跡
引受人ヲ命ジ此銀行ノ發行銀券ヲ右ノ如ク取押へタル
此銀行ノ資産限り之ヲ引換ヘシムベシ
但本文ノ手續ヲ了リ尚ハ過金アレハ此銀行ノ預リ金
又ハ諸借財等ヲ償却シ尚過金アレハ株高ニ應ジ之
ヲ割戻スベシ

第二章 平穩銀行ノ事

第 一 條 大藏卿ノ命ニ依ルカ或ハ株主等ノ協議ニ依リ大藏卿ノ承認ヲ經テ平穩銀行セントスルニハ發行銀券ノ引換方其他取引ノ清算ヲ詳載シタル報告ヲ作り三ヶ月間之ヲ公告シ然ル後銀券ノ引換方其他ノ引換方ニ着手スベシ

第 二 條 右公告終リシ日ヨリ六ヶ月ヲ過キ銀行ノ簿冊上ニ於テ尚ホ世上ニ残在スル銀券アルニ於テハ其負額丈ノ貿易銀ヲ大藏省ニ差出シ大藏省ニ於テ之ヲ引換ヘ銀行ノ株主等ハ一切其引換ノ責ニ任ゼザルベシ

但本文ノ場合ニ於テハ銀行ハ大藏省ニ預ケ置キタル公債証書ノ全額ヲ取戻スベシ

第二章 營業本務ノ事

第 條 此銀行ハ金銀ヲ貸付ケ又預リ金ヲナシ又ハ
為換ヲ取組ミ又ハ為換手形約束手形其他ノ証書
ヲ割引シ又ハ公債証書外國貨幣并ニ金銀銅ノ地金
ヲ賣買シ及ヒ保護預リ又ハ兩替等ノ事ヲ以テ本務
トスベシ

第 條 此銀行ノ貸付金額ノ制限及ヒ預リ金ノ準備
積立方ハ國立銀行條例第五十六條及ヒ第五十九條ニ
準スベシ

第 條 此銀行ハ第 條ニ掲ル所ノ營業本務ノ
外地所家屋其他物件ノ賣買ヲナスベカラス又他ノ兩業
工業ヲ興シ及ヒ是等ノ會社ノ株主トナルヲ許サス尤モ
銀行營業ノ為メ緊要ナル地所家屋ニ限リ之ヲ買取リ

之ヲ所持シ之ヲ賣拂フコトヲ得ベシ

但貸付金ノ抵當又ハ質物トナリシ地所家屋物件ヲ
引取り又ハ之ヲ所持スルハ本文ノ限ニアラズトモ
是等ノ地所家屋物件ハ必ス十ヶ月以内ニ之ヲ賣拂フ
ベシ

第

条

此銀行ハ其株式ヲ抵當ニ取り貸付金ヲ
ナスベカラズ又其株ノ買主トナリ又ハ其株主トナルベカラズ
尤貸付金ノ滞ニテ此銀行ノ損失トナルコトアレバ止ラ得ス
其株ヲ引取ルコトヲ得ベシトモ必ス六ヶ月以内ニ之ヲ
賣拂フベシ

第二章 株主ノ事

第

条

此銀行ノ株主ハ其株高ニ應シ株手形ヲ
受取ルノ權アルベシ而シテ各株主ハ何等ノ事故
アリトモ此銀行解散ノ期ニ至ラザル間ハ其株金ヲ
取戻スコトヲ得サルベシ

但此銀行ノ承認ヲ經テ其所持ノ株式ヲ賣買シ
又ハ讓渡シテナスハ此限ニアラズ

第

条

此銀行ノ株主ハ假令此銀行ニ於テ損失
又ハ其他ノ事故アリテ此銀行潰店解散スルコトアルモ
各引受タル株式ノ金額ノミヲ損失スルノ外別ニ出金
ヲナスノ責ナカルベシ

第

条

此銀行ノ株主ハ銀行營業ノ時間ハ何時
ニテモ其諸帖簿ヲ檢閲スルコトヲ得ベシ

弟 章 役員ノ事

弟 条 此銀行ノ役員ト稱スル者左ノ如シ

頭取

取締役

其他支配人書記方計算方出納方等ノ名義ヲ以テ
役員ヲ定ムルハ此銀行ノ適宜ト任ス

弟 条 此銀行ノ頭取其株主中ヨリ之ヲ撰挙シ
大藏卿ノ承認ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

弟 条 此銀行取締役ノ半数ハ其株主中ヨリ総株
主ノ投票ヲ以テ之ヲ撰挙シ其半数ハ大藏卿ヨリ
銀行ノ株主ニアラザルモノヲ之ヲ命スベシ

弟 条 此銀行頭取ノ在職年限ハ五ヶ年ニシテ取締
役ノ在職年限ハ壹ヶ年間タルベシ然レハ大藏卿ニ於テ

大藏省

要用ト思考スルハ頭取又ハ大藏卿ヨリ命シタル取締
役ニ限リ其在職年限中タリ氏之ヲ解職セシムルヲアル
ベシ

弟 条 此銀行ノ頭取取締役等若シ此条例ニ背戾
スルヲアリテ其カ為ノ株主又ハ其他ノ人へ損失ヲ受ケシ
ムルヲアルハ頭取取締役等之ヲ辨償スベシ

弟 条 此銀行ノ頭取取締役其他ノ役負タル者ハ銀
行所有ノ金銀及ヒ諸証書預リ品等ヲ私用スベカラス又
頭取取締役ノ承認ヲ經ズシテ銀券及ヒ預リ証書ヲ發行
シ又ハ諸貸付ヲナシ為換手形ヲ振出し又ハ証書及ヒ切
手ノ引受ヲナシ約束手形為換手形諸証書質物及ヒ
銀行へ引取リタル者ヲ賣渡スベカラス又銀行ノ諸簿冊
計算表報告書其他ノ要書ニ詐偽ヲ記載スベカラス

弟 条 此銀行ノ頭取取締役其他ノ役負ハ銀行定
款ニ記載スル規定ニ從ヒ尋常借リ得ベキ金額ノ外ハ
自身又ハ仲人ヲ以テ一切銀行ヨリ借受クベカラス又其
銀行ヨリ借財ヲナス者ノ為メ其証人又ハ受人トナル
ベカラス

弟 条 此銀行ノ頭取取締役其他ノ役負タル者ハ
其銀行ノ名ヲ假リ以テ自己ノ利益ヲ謀ルハ勿論然レ
私用ヲ辨スベカラス又他人ヲシテ之ヲナサシムベカラス

第二章 株主總會ノ事

弟 条 此銀行ノ株主總會ヲ分テ通常總會臨時總會トシ通常總會ハ少クトモ毎半季之ヲ執行シ臨時總會ハ何時ニテモ大藏卿又ハ頭取取締役或ハ総株主ノ半数以上ニ於テ要用トスルトキハ之ヲ執行スルコトヲ得ベシ

弟 条 右通常總會臨時總會ニ於テノ議長ハ頭取ヲ以テ之ニ任シ且ツ議定スベキ事項ハ都テ投票ヲ以テ之ヲ決シ決定ノ事件ハ時々大藏卿へ申牒スベシ

但株主ハ十株近ハ壹株毎ニ壹箇十一株以上百株近ハ五株毎ニ一箇百一株以上ハ十株毎ニ一箇宛ノ投票ヲナスノ權アルベシ

第 章 諸帖簿諸報告ノ事

第 条 此銀行ノ諸帖簿ハ大蔵省ヨリ指令スル所ノ書式ニ從ヒ詳明正確ニ之ヲ記載スベシ

第 条 此銀行ハ大蔵省ヨリ指令スル所ノ書式ニ從ヒ毎月并毎半季其他大蔵卿ノ命アルニ於テハ何時ニテモ其事務計算等ノ詳明ナル報告書及ヒ考課状ヲ大蔵卿ヘ差出スベシ

第 条 此銀行ハ毎半季實際詳明ナル計算表并考課状ヲ製シ之ヲ株主一同ヘ配賦スベシ且ツ右計算ハ簡明ニ之ヲ世上ニ公告スベシ

第二章 利益金分配ノ事

弟 条 此銀行ハ半年毎ニ其損益決算ヲナシ其
純益金高ノ一割ヲ引去リ非常準備トシテ之ヲ積立
其殘金額ハ平等ニ之ヲ各株高ニ分配スベシ

第二章 營業時間ノ事

第

条

此銀行ノ營業時間ハ其本支店共毎日曜日并祝日祭日ヲ除クノ外毎日午前第九時ヨリ午後第三時(土曜日ハ正午十二時)マデタルベシ

但銀行ノ都合ニヨリ營業時間ヲ伸縮スルカ又ハ臨時休業スルハ大蔵卿ノ承認ヲ經テ之ヲ世上ニ公告スベシ

第二章 銀行名印ノ事

第 條 此銀行ハ其名号ヲ掲牌ニ記載シ營業

時間中必之ヲ店前ニ掲クベシ

第 條 此銀行ハ其印鑑并諸役員ノ印鑑ヲ大蔵

省ヘ差出スベシ而シテ諸願伺届又ハ諸證書約定書

及ヒ往復ノ文書等此銀行一般ニ關スル事件ハ總テ

其名号ヲ用ヒ其社印ヲ押スベシ

第二章 検査ノ事

第

条

大蔵卿ハ銀行ノ営業ニ於テ其模様ヲ
詳知スルヲ緊要ト思考スルカ又ハ其銀行ノ総株主
五分一以上~~以上~~ノ請願ニヨリテハ官負ヲ派遣シ或ハ
地方官廳ニ命シテ其實際ヲ検査セシムル~~ル~~ア
ルベシ

第二章 罰則ノ事

第

条

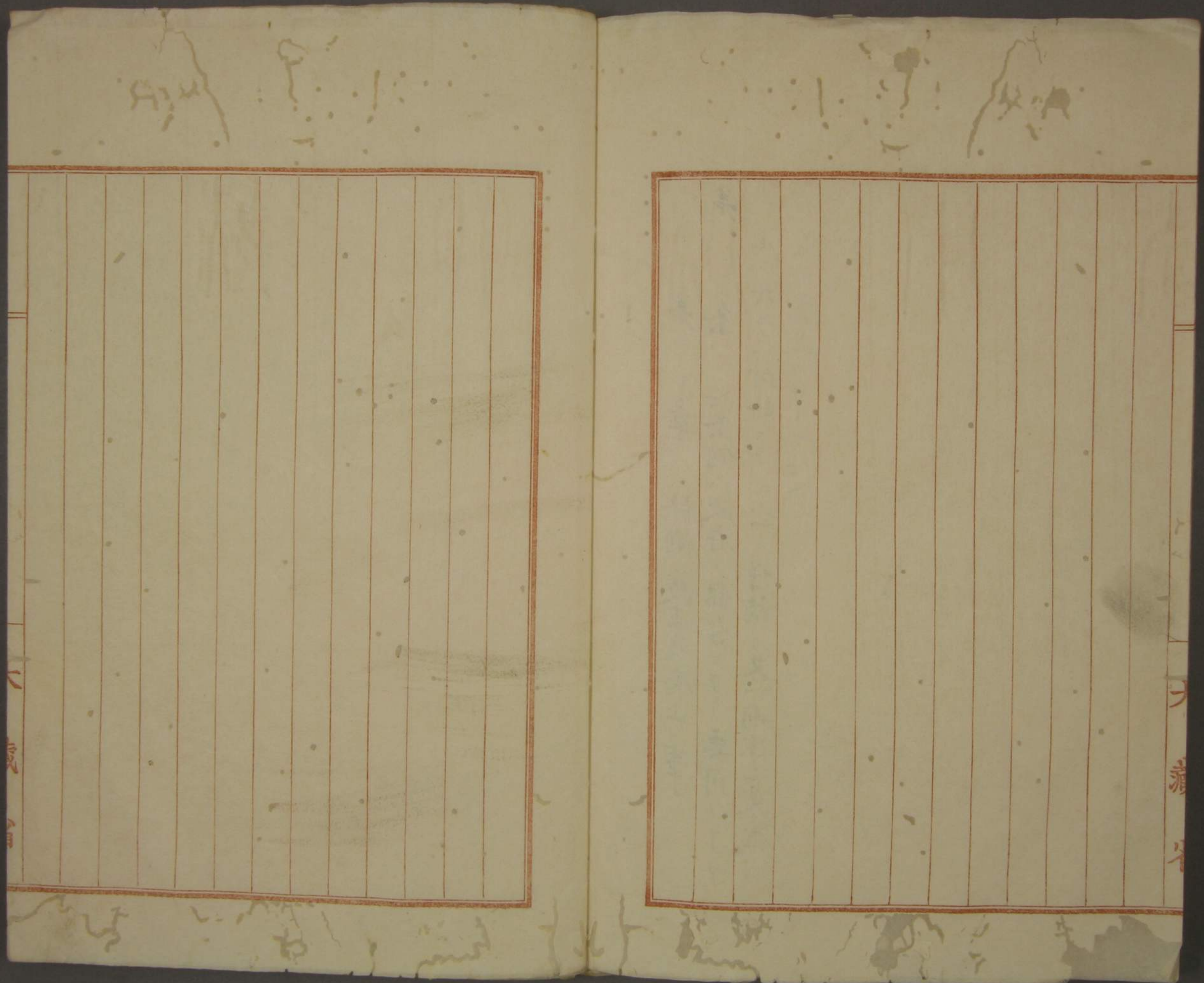
此銀行又ハ此銀行ノ役員タル者此条例ヲ
犯スカ又ハ背戾セシメ又ハ背戾シタルヲ不問ニ措キ
タル実證アルニ於テハ五円ヨリ少カラズ千円ヨリ
多カラザル罰金ヲ科スベシ

第二章 條例ノ改正及廢止ノ事

第

條

此條例ハ政府ノ都合ニヨリ要用ノトアルニ於テハ何時ニテモ之ヲ増補シ又ハ刪除シ又或ハ之ヲ廢止スルコトアルベシ



六
後
日

天
清
日

